

社会の変化

人口減少

カーボンニュートラル

国際競争力

大規模災害

SDGs

変わる道路

WISENET2050

▶ 道路空間を多機能空間へ進化させ、自動化・環境など新たな価値を創造

変わる物流

物流革新

▶ 物流のモード間・事業者間を超えた効率化・協調により全体最適を実現

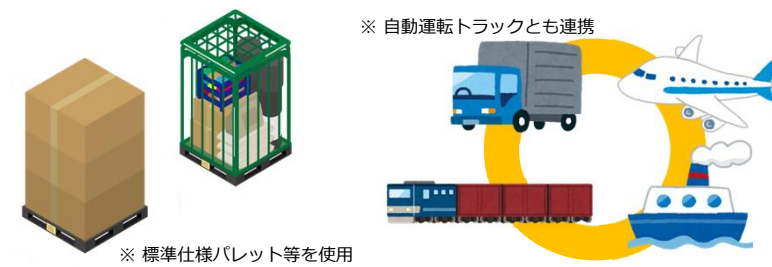
新しい物流形態「自動物流道路」の構築

道路空間を活用して専用空間を構築 + デジタル技術を活用して無人化・自動化された輸送手法

<ポイント> 自動化により人的リソースの制約を離れた小口・多頻度輸送 → 物流専用の省スペースで安定輸送
輸送と保管を統合したバッファリングで需要の波を平準化 → オフピーク活用など物流全体の効率化

○ 持続可能で、賢く、安全な、全く新しいカーボンニュートラル型の物流革新プラットフォーム

- ① 物流の全体最適化
: 需要平準化・標準化などのロジスティクス改革に貢献
- ② 物流モードのシームレスな連結
: 積替えバリアを解消し、新しいモーダルシフトを実現
- ③ カーボンニュートラル
: 低炭素技術を導入し、環境負荷を最小限に抑制等



標準化と自動化の推進

物流モードのシームレスな連結

<想定ルート>

社会実験

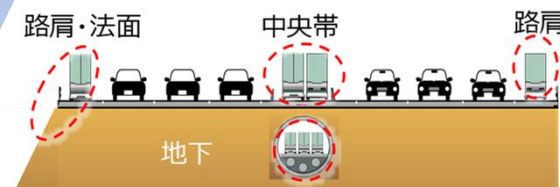
新東名高速の建設中
区間(新秦野～新御殿場)
などにおいて実験

第一期区間

- 小規模な改良で実装可能な区間などにおいて10年後を目途に実現を目指す(先行ルート)
- 物流量も考慮しつつ、大都市近郊の特に渋滞が発生する区間を想定

長距離幹線構想

物流量が特に大きい
東京～大阪間を対象



道路空間の利活用イメージ

- このほか、
 - ・ モード結節のための、物流拠点(JR貨物駅等)間の接続
 - ・ 地方部での物流拠点・都市間、都市内物流との連携 について検討

▶ アジャイルアプローチで技術・ノウハウを確立

今後の検討事項：道路交通や物流全体への影響の検証、需要・ビジネスモデルの検討、技術開発(民間資金を想定し、民間の活力を最大限活用)

